



学校だより

Jobu Junior high school

信頼を築く学校

茅野市立
東部中学校

令和6年度 文責 濱 喜一郎

発行日 9月26日(木)

いよいよ八ヶ嶺祭!!

第39回八ヶ嶺祭が『拓く』～心満開！笑顔満開！思い出に残る八ヶ嶺祭を～のテーマを掲げ、明日と明後日に開催されます。

この八ヶ嶺祭のために、たくさんの計画、準備、練習、協力、努力等々をしてきました。生徒会役員や文化祭実行委員会を中心に、三年生、二年生、一年生、まさに全校が協力をして、八ヶ嶺祭の大成功に向けて努力を積み重ねてきました。文化祭に向けての計画準備は、もう半年も前から徐々に始まっており、徐々に準備が



具体的になり、まだまだ日数があるなあと見ていた昇降口の「文化祭まであと〇〇日」のカウントダウンボードの数字もみるみるうちに小さくなっていきました。

何回も八ヶ嶺祭に関わる全校集会が行われ、各委員会の活動も文化祭に向けてのものが増え、クラスや学年で様々な準備や製作を行い、学校の至る所に文化祭の雰囲気を感じさせるものが増えて



いき、全校で校庭の草を取り、ワックスがけを行い、特別清掃をし、休み時間や昼休みには、大縄飛びや全員リレーの練習の歓声が響くようになり、音楽室や各学級や体育館、ラーニング、テニスコートから聞こえる歌声は徐々に大きくなっていきました。まさに全校で八ヶ嶺祭に向けて突き進んできました。



いよいよその幕が明日開きます。ここでもう一度、テーマをよく見てみましょう。「拓く」です。何を「拓く」のでしょうか。今年の八ヶ嶺祭の大きな特徴は、大きな願いの込められた「縦割り」活動ですね。これまでクラスや学年でのまとまりで取り組むことの多かった活動を、学年を越えたグループを作り、ここまでも様々な縦割り活動を行い、明日から始まる八ヶ嶺祭の中でも初の試みである縦割りによる小グループでのウ



ークラリーがあり、体育祭にも縦割りによる種目が用意されています。文化祭に向けての合唱練習にも縦割りの仕組みが取り入れられ、清掃活動も縦割りで行ってきました。その中で着実に生徒の皆さんの人との繋がりは、これまであったものよりも拓かれ、新たな繋がりが様々なコミュニケーションが生まれてきたことでしょう。そうして迎える本番



は、きっと、これまでとはひと味もふた味も違う「拓かれた人と人との繋がり」による豊かな充実した時間となっていくと期待しています。そこにはきっと「心



満開」「笑顔満開」があふれていくのでしょうか。



明日からのハケ嶺祭がこれまで行ってきた様々な活動の大きなまとめの場となります。このハケ嶺祭が「思い出に残る」ものとなるよう、最後の仕上げとして、更にもう一步踏み出し「拓」の仕上げをしていきましょう。このハケ嶺祭の中で、どんな皆さんの姿が見られるのか、今からワクワクしています。思いっきりいきましょう。そして、全校で、東部中学校の新しい歴史を作り出して行くことを期待しています。

以下に、1 学期終業式と 2 学期始業式の生徒代表意見発表を載せます。

代表生徒の皆さんは、自身の振り返りとこれからの向けての自分の目標が具体的になっており、大変素晴らしいです。終業式、始業式で発表をしてもらいましたが、参考になる部分も多くありますので、ぜひ、もう一度、今度は文字で内容を確認してくださいね。

1 学期終業式生徒代表意見発表

一学期で成長したこと

1 年代表 S さん

私はこの一学期成長したことが三つあります。

一つ目は、挨拶です。中学校ではすれ違った先生や、先輩などに挨拶することを意識して生活しました。最初は不安や心配で大きな声でできていなかったけれど、毎日挨拶をしていくごとに、大きな声ですれ違った人たちに挨拶をすることができました。生活委員として、昇降口で挨拶運動をしたことも挨拶するようになったきっかけでもあります。小学校ではすれ違った人に必ず挨拶すると意識したことがなかったので、自分の中の成長だと感じます。二学期も自分から明るい挨拶を心がけていきたいです。

二つ目は勉強です。勉強は大きく分けて、「テスト勉強」と「宿題」です。テスト勉強は、小学校の頃はあまりしていなかったため、計画通りできるか不安でしたが、計画表を使い見通しをもって、毎日計画通りにたくさん勉強をしました。部活後で疲れているときも計画通りに学習することを心がけました。その結果、期末テストでは自分の成果をしっかりと出すことができ、よかったです。宿題は、小学校よりも量が増えて、最初は時間をかけてやっていたけれど、てきぱきと学習できるようになりました。二学期も高い目標を持って勉強を頑張りたいです。

三つめは、部活です。私はテニス部に入りました。先輩も先生も優しく、「もっと頑張ろう」と思えます。テニスは未経験ですが、上達できるように練習を一生懸命取り組んでいきたいです。今まで運動を毎日していなかったので、体力が上がり、成長できたと思います。これからも練習に励んでいきたいです。

そして、一学期は「キャンプ」がありました。キャンプの中で学年やクラスみんなでキャンプファイヤーやクラスレクなどを通して、絆が深まり、みんながまとまったと思います。中学校最初の行事はとても良い思い出になりました。中学に入る前は、不安でいっぱいだったけれど、先輩も先生も優しく、毎日が、とても充実した日々を送ることができました。

二学期は文化祭が控えています。一学期に成長したことを活かしつつ、個人として、クラスとしてさらに成長できるように、頑張っていきたいです。

一学期頑張ったこと

2 年代表 H さん

私は一学期に頑張ったことが三つあります。それは、提出物を出すことと、部活動と勉強です。

昨年は、あまり提出物を出すことができていませんでした。ですが、今年は昨年よりもしっかり提出することを意識して生活しました。まだ完璧でないところもあるので、二学期はどの教科も完ぺきにしたいです。

次に部活動です。私はケットボール部に所属しています。昨年は、ドリブルは全くと言っていい程できなかったのですが、ドリブルの技術を高めたいと思い、練習しました。普通のドリブルもできるようになりましたが、レグスルーなどの技が少しずつできるようになりました。先輩たちが引退してしまうと次は自分たちがチ

ームを引っ張っていかなければなりません。先輩たちを見習って、頑張りたいです。

最後に勉強です。今年は、昨年よりも勉強に力を入れて取り組んでみました。その結果、期末テストの点を昨年よりも上げることができました。二学期の定期テストでは、目標点数を今回よりも上げて、達成できるように頑張りたいです。

私は、一学期にこの三つを頑張りました。がんばって取り組んだことで、技ができるようになったり、点数を上げることができたりしまして、とても嬉しかったです。また、それと同時に自信にもつながりました。二学期には、新人戦があったり、生徒会の引継があったりします。先輩たちに少しでも近づけるように、頑張っていきたいです。

みんながいることへの感謝

3 年代表 N さん

この題名は私が一学期を通して感じたことです。四月に行われた修学旅行では、約 4 ヶ月間の準備を重ね、クラスや班の枠を超えて学年で協力したからこそ最高の修学旅行にすることができました。係の仕事を分担し、責任を持ち活動に取り組む姿や京都や奈良の歴史を学ぶと共に、旅館やバス内では心の底から楽しむみんなの姿が見られ、最高の思い出になりました。

六月の中体連南信大会では、三年間最後の引退試合となりました。試合終了のブザーが鳴った時にはたくさんの涙があふれてきました。この涙は負けてしまった悔しさはもちろんありましたが、三年間楽しいこともつらいことも乗り越えてきた仲間、後輩や先生方、保護者の方や応援して下さったみなさんへの感謝の気持ちが大きく、言葉にできない程の感情があふれ出てきました。毎日の練習に加え、週末の練習試合では一つの目標に向かって一致団結し、協力して勝利を目指す姿や個々の目標や目指す姿に近づこうと全員が努力している姿が思い出されます。

今、お話しした大きく二つの思い出のほかにもたくさんの節目や出来事があり、いろいろな人への感謝の気持ちを持つことがどれほど重要か知ることができた一学期でした。

これから先の学校生活でも仲間がいるからこそできること、感じられること、楽しめることを積極的に見つけ、悔いの残らない中学校生活を送り、いつ、どんな時でも感謝を忘れずに生活をしていきたいです。

2 学期始業式 生徒代表意見発表

二学期、頑張りたいこと

1 年代表 A さん

僕は今学期頑張りたいことが四つあります。

一つ目は、「挨拶」です。僕は「こちらから相手の目を見て挨拶」を心掛けています。その理由は、相手の目を見て挨拶をすることで、僕も相手も気持ちよく生活できると思うからです。また相手とのコミュニケーションが増えると思うからです。僕自身で心掛けている目標ですが、僕も人間なので「気分が乗らない日」があります。僕はそんな日が続くときがあり、その日は「挨拶」をしなかったり、してくれても無視してしまいました。そして、一学期はそんなことがよくありました。なので、そんな日にも今学期からは、もっと挨拶に対する意識を高めていきたいです。

二つ目は、「中間テスト」です。二学期は期間が長いので、九月の中旬に「中間テスト」があります。一学期の期末テストでは、目標の〇〇〇点を取ることができませんでした。だから、さらに勉強法を改善したり、ノートの取り方を工夫したりして、中間テストに向けて備えていきたいです。そして、僕の目標点を取れるようにしていきたいです。

三つめは、「部活」です。僕は、吹奏楽部に所属しています。そして二学期には「文化祭」があるので、そこで演奏できるようにしたいです。うまい演奏にするためには、平日、休日の練習に積極的に参加することが大切だと思います。コンクールが終わり、文化祭の練習に入ってきているので頑張りたいです。

四つ目は、「クラスのこと」です。今、僕は文化祭に向けて、クラス合唱、学年合唱の練習に努力しています。また、僕は一年二組の級長です。級長としてクラスをリードしていきたいです。そして、「クラスで団結」でどんなことにも全力で取り組みたいです。

これらの目標を実現することは難しいですが、「努力」と「挑戦」を忘れずに、自分の柱にしたいです。そして、どんなことにも積極的に取り組んで、この二学期をよりよく、豊かなものにしていきたいです。

二学期の抱負

2 年代表 K さん

私が二学期に頑張りたいことは、三つあります。

一つ目は、提出物です。私は今まで宿題などを全然出していませんでした。三年生の先輩方は、受験や進路決定に向けて準備を進めているという話をよく聞きます。二学期が終わるころには、生徒会の引継があるなど、最上級生となる準備をしなければなりません。なので、この二学期からは、しっかりと期限を守って提出物を出したり、宿題を継続して出したりと、「当たり前のことを当たり前に行えるようにする」ということを頑張りたいです。

二つ目は、テスト勉強です。私は一年生の頃から「今回こそはテスト勉強をする！」と意気込みはするものの、結局十分にやり遂げたことは一度もありませんでした。二学期は中間テストと期末テストの二回のテストがあるのでしっかりとテスト勉強をしていい点数を取りたいです。

三つ目は、生徒会です。私は文化祭実行委員会に所属しています。一学期には、ステージバックや文化祭サブテーマアンケートなどもしっかりとクラスに呼びかけることができました。二学期はいよいよ文化祭があるので、しっかりと自覚を持って生徒会活動に専念し、クラス全体で気持ちを文化祭に向けていけるようがんばりたいです。

私はこれら三つのことを目標にして、楽しくて充実した学校生活を送りたいです。

中学校生活最後の二学期

3 年代表 N さん

二学期は色々な行事があったり、勉強の内容がより難しくなったりと、様々な面で忙しくなる学期です。特に九月にある文化祭は、学校生活の醍醐味だと思います。そんな二学期で私は全力で取り組みたいことが三つあります。

一つ目は、勉強です。二学期から定期テストが総合テストになったり、授業内容が難しくなります。なので、私は毎日少しずつ、二年生の復習をしたり、覚えられない単語や重要語句は声に出しながら覚えたり、工夫をした勉強をしていきたいです。

二つ目は、文化祭です。私の所属している創作部美術部門では、毎年イラストの展示や黒板アートの創作を文化祭時に行っています。見に来てくれた人に楽しんでもらえるようなコーナーをつくりたいです。また、文化祭で一番楽しみにしていることは、音楽会です。クラスのみんことや学年のみんなで良い合唱にしようと練習を積み重ねてきた歌を、他のクラスや他の学年、先生方、家族に聴いてもらえることがうれしいです。歌い終わった後に満足できるような合唱にしていきたいです。

以上の二つのことを私は全力で取り組みたいです。勉強も部活も文化祭も思いっきり楽しんで、中学校生活最後の二学期を送りたいです。

こうして見てみると、各学年それぞれの立場で、それぞれに個性が出ていますね。どれも素晴らしい内容です。また、後輩の皆さんが、先輩の姿、「三年生」を頼りにし、目標にしていることも伝わってきます。こんな縦の関係は素敵ですね。

そして、特に2 学期始業式の意見発表では、3 人とも、2 学期の「目標」の中に「ハヶ嶺祭(文化祭)」を挙げています。やはり、ハヶ嶺祭は、東部中学校の生活の中で大きな意味と価値を持つものとなっているということなんですね。そのハヶ嶺祭がいよいよ始まります。

生徒の皆さんそれぞれが、それぞれの場で、それぞれのがんばりをし、思いっきりハヶ嶺祭を創り上げていきましょう。

生徒に関すること、スクールソーシャルワーカー (SSW)、スクールカウンセラー (SC) への相談等ご希望がありましたら、お気軽に学校 (子どもサポートコーディネーター) まで、ご連絡をお願いします。また、「育ちあいちの」へ相談は随時行えます。ぜひ、ご利用ください。

茅野市立東部中学校
濱 喜一郎(校長)
〒391-0011 茅野市玉川 10030
電話 79-5050 Fax 79-5242